

周遊促進・滞在延長の中核となる取組

① 宿泊施設を中心に長期滞在できる観光地域づくり

- ・分散型ホテルの構築や宿泊施設の魅力向上に向けた事業計画の策定支援や新たな支援エリアとなりうる候補地の掘り起こしに向けた可能性調査を実施
- ・中山間地域において宿泊機能を強化し、長期滞在を図るため、宿泊施設の開設を支援



② 地域の魅力をより深く体感できる観光商品の造成を支援

台湾便の定着や韓国航路の誘致、クルーズ船の寄港を見据え、通訳案内士によるガイドを組み込んだ高付加価値商品や「よさこい高知文化祭2026」に向けた団体向けの観光商品を造成

○ 内容

- ・コーディネーターの伴走支援による商品造成や販売等の支援
- ・説明のポイントや体験の特徴等をまとめたガイドツールや商品造成後に営業で使用するセールスツール等の作成
- ・販路拡大のため、旅行会社等を招聘するファミツアーを実施
- ・相談窓口の設置やアドバイザー派遣による既存商品の磨き上げ



地元の人とおきゃく

周遊促進・滞在延長・リピーター化に向けた企画

① 龍馬パスポートを活用した周遊企画

よさこい高知文化祭2026の開催に連動したレアスタンプ企画の実施

- 10月-R9.3月: 県内7エリアの指定施設にて期間限定スタンプを押印(第一弾は、文化祭期間(10/25-12/6) 予定)



② やなせたかし記念館・牧野植物園のセット券

連続テレビ小説「あんばん」、 「らんまん」の放送を記念して、2館にお得に入場できる&県内の主要観光施設(14施設)の特典が受けられるセット券を継続販売

- 有効期間: 4/1-R9.3/31



③ 周遊促進・滞在延長支援事業費補助金による支援

市町村等が行う「どっぴり高知旅キャンペーン」のテーマに沿った取組で、観光客の周遊促進や滞在延長につながる取組を支援



④ キャンペーンサイトにおけるどっぴり体験商品の販売力強化

どっぴり体験商品の周辺にある宿泊施設やグルメ、観光施設の情報を併せて発信するとともに、OTAサイトと連携することにより情報収集から予約、購入まで一気通貫でできるよう、キャンペーンサイトを改修



⑤ コミュニティサイトの運営開始

リピーター化とロコミによる情報発信を強化するためのファンマーケティング施策として、新たにコミュニティサイトを開設。ファンと協働した情報発信により、ファンがよりファンになっていく好循環を創出



特別感のあるイベント等の開催

① どっぴり高知旅キャンペーン サードシーズン PRイベント

どっぴり高知旅キャンペーン3年目に突入するにあたり、商品造成も進んできたことから、『どっぴり3rdシーズン PRイベント』を実施

- 日時: 5月
- 場所: 高知市内
- 内容: どっぴり体験商品の紹介や新ビジュアルのお披露目



② よさこい高知文化祭2026(以下、文化祭)に連動した誘客の核となるイベントの開催

文化祭期間にあわせて、よさこい鳴子踊りや神楽などの伝統芸能など高知ならではの「文化」に焦点を当てた誘客イベントを開催。文化祭を契機に来県した方の滞在期間延長とリピーター化を促す。

- 期間: 10/24-12/6 金土日祝日
- 場所: 高知市内
- 内容: よさこい鳴子踊り・伝統芸能の披露、高知城夜間開館など



③ 文化祭のレガシーを活用した本県ならではの「文化」の情報発信

- 文化祭終了後の反動減対策として、夜間イベントの開催による発信
  - ・よさこい踊りの披露や観客も一緒に踊れる体験
  - ・おきゃく文化や田舎寿司づくりなどの食文化の体感 など
- インバウンドにも訴求力のある商品造成、プロモーションの実施
  - ・土佐和紙、土佐打刃物、土佐硯などの伝統工芸、四国遍路など高知の文化を体験できる商品づくりと情報発信



閑散期対策・消費拡大に向けた取組

① 平日宿泊キャンペーン

観光関連事業者と連携した、平日宿泊を促進するキャンペーン

- 内容
  - ・宿泊事業者をはじめとする観光関連事業者と連携し、平日の宿泊や施設利用に対する特典をキャンペーン特設サイトに掲載
  - ・オンライン旅行会社と連携した宿泊クーポンの実施
  - ・県内企業等を巻き込んだ平日観光の機運醸成



② 『食』を生かした取り組み ※ じゃらん「地元ならではのおいしい食べ物があった」R7 1位(8度目) 宿泊施設と連携し、地域ならではの食材や、旬の食材を生かして誘客を促進

- 内容
  - ・県旅館ホテル生活衛生同業組合と連携し、テーマを決定
  - ・組合に参画する宿泊施設において、テーマに沿った食事を提供
  - ・「冬の食キャンペーン」では、「ゆず」「しょうが」をテーマ食材として取組む



③ 人材確保の取り組み

宿泊業の繁忙期に、主に県外からの人材確保を念頭に、短期間の労働を希望する方の掘り起こしや確保を行い、将来的には関係人口や交流人口の拡大に繋げる